



Performance Residence in Museum 2026-27 滞在アーティスト決定

Performance Residence in Museum は今回初めて滞在アーティストを公募しました。Performance Residence in Museum 2026-27の滞在アーティスト募集には、38組の応募があり、審査を経て劇作家・演出家の川村智基を選出しました。2026年9月から10月までの期間に計15日間、世田谷美術館に通い、「関係性から紐解く。僕と世田谷美術館と、一環境と振付。関わりと言葉。個人とあの時いたオバケとか。ー」をテーマに滞在します。

滞在アーティストは、劇作家・演出家の川村智基

2026年度の滞在アーティスト川村智基は、テクノロジーが発達する昨今において、固有の歴史を持つ個人の“翻訳不可能性”に注目し、舞台を通して翻訳不可能な他者との関係を演劇を用いて再構築することに取り組んでいる作家です。滞在前の事前リサーチにおいて、世田谷美術館の運営は『翻訳不可能な関係』とも言える多様な背景を持つ人々の密接な関わりによって成り立っているのではないかと考えています。滞在中は、美術館を支える人・訪れる人との交流やリサーチを行い、自身の創作テーマや表現手法の探求を深めていきます。※滞在期間中には、ワークショップ形式のオープンデーを実施するほか、2026年10月25日(日)には、滞在報告会を一般公開します。(詳細は後日発表)



撮影：松本尚大

プログラム名	世田谷美術館 × アートネットワーク・ジャパン 「Performance Residence in Museum 2026-27」
滞在アーティスト	川村智基（劇作家・演出家）
実施日程・会場	2026年9月29日(火)～10月25日(日) ※予定 世田谷美術館

OPEN DAY

オープンデー「編みなおす。僕とあなたとこの場所と、」

日時|2026年10月4日(日) 11:00～15:00(途中休憩あり)*午前・午後通し参加の方優先

①11:00～12:30「ほどいてみる。僕の視点」編/②13:00～15:00「編みなおす。あなたとの境界」編

場所|世田谷美術館講堂ほか 対象|中学生以上 定員|12名程度 参加費|無料

申込方法|予約フォームに必要事項をご記入ください

プログラム特設サイト (note) https://note.com/sam_anj_air/

プログラムディレクター 米原晶子(NPO 法人アートネットワーク・ジャパン)

プログラムコーディネーター 名取萌音・浜野あすか・細川浩伸(NPO 法人アートネットワーク・ジャパン)

主担当学芸員 吉田絵美(世田谷美術館)

副担当学芸員 杉浦駿介(世田谷美術館)

主催 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

後援 世田谷区、世田谷区教育委員会

お問合せ NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 050-5527-2731 / p-air@anj.or.jp



オープンデー

『編みなおす。僕とあなたとこの場所と、』

日時 | 2026年10月4日(日) 11:00~15:00 (途中休憩あり)

11:00~12:30「ほどいてみる。僕の視点」編

13:00~15:00「編みなおす。あなたとの境界」編

※午前・午後通し参加の方優先

場所 | 世田谷美術館講堂ほか

対象 | 中学生以上

定員 | 12 名程度

参加費 | 無料

申込方法 | 予約フォームに必要事項をご記入ください

普段の生活では無意識に見落としてしまう様々な事柄を改めて見つめなおし、「少しズレちゃったところ（とっても集中したり、しなかったりしている時の、どうもフワフワとしたあの感じ。）」から世界を観測。最終的には1つの映像絵本を作るオープンデーを開催します。

前半部では川村智基が、身体のみを使って個人と個人の関係性を色んな方法でほどこ、視点をズラしてみるワークショップを実施します。後半部では、日記映画を生業とする川上さわ（映画監督）さんを招き、世田谷美術館を探索しながらそのズレた視点を実際にカメラを使用して納めます。その映像をもとに世界に1つだけの映像絵本を作ってみましょう。

身体、視点、文字を通して世田谷美術館という“環境”を編みなおしてみませんか。

※オープンデーで撮影された映像や生まれた映像絵本は、10月25日の滞在報告会の際に紹介させていただく可能性があります。（場合によっては、一部編集させていただく可能性があります。）

滞在アーティスト：川村智基（かわむら・ともき）



撮影：松本尚大

2001年生まれ、劇作家・演出家。奈良県出身。大阪芸術大学に在学中。

2021年に「餓鬼の断食」を旗揚げ。『翻訳不可能な身体を持つ個人と、他者と共に横たわる関係を演劇を用いて再構築し、舞台化させること。』をテーマに、関西弁の口語を用いた会話劇の創作や、身体表現の探求、他領域アーティストとの協働を行う。2024 年より西陽〈ニシビ〉プロジェクトメンバー。『DOGHOUSE』にて第70回岸田國土戯曲賞ノミネート。『Fusion, (フュージョン、)』にて第23回AAF戯曲賞最終候補。クマ財団クリエイター奨学金第8.9.10期採択、無隣館インターナショナルなど、活動の幅を広げている。

飢餓の断食 WEB サイト <https://gakinodanjiki.jimdosite.com/>



餓鬼の断食

『Fusion, (フュージョン、)』

撮影：前澤秀登



餓鬼の断食

企みその2

『STUDY | 修飾を歓迎する環境 ↔ 拒否する身体』

©トモカネアヤカ

提供：豊岡演劇祭実行委員会



Performance Residence in Museum 2026-27 世田谷美術館 × アートネットワーク・ジャパン

美術館にパフォーマンス分野のアーティストが滞在する、アーティスト・イン・レジデンス

世田谷美術館と NPO 法人アートネットワーク・ジャパンは、身体表現やパフォーマンス表現を行う若手アーティストを対象としたアーティスト・イン・レジデンス（AIR）プログラムの実施を通して、アーティストの創造環境・活動のフィールドを拡張し、幅広い視野で自身の作家性を追求し表現する、次代を担う若手アーティストの支援・育成を目指しています。これまでに、作曲家・演出家の額田大志、演劇家の藤原佳奈、短歌を詠むダンサー／振付家の涌田悠、劇作家・演出家の村田青葉が参加し、実験的でユニークな活動を展開しました。



2022 年度滞在アーティスト：額田大志による滞在報告会の様子
撮影：加藤甫



2024 年度滞在アーティスト：涌田悠オープンデーの様子
撮影：丸尾隆一

プログラムの特徴

若手アーティストによる実験的な創造活動を支援

滞在アーティストは、3 年以上の活動実績があり 35 歳以下、もしくは活動を始めて 15 年以内の方を対象としています。コラボレーションワークや地域とのかかわりを通して、表現の〈越境〉や〈拡張〉に意識的に取り組むアーティストの活動を支援します。

美術館に滞在するからこそできる、対話や実験を重視

アーティストの活動計画立案から滞在中のリサーチや活動を、担当学芸員・プログラムディレクター・コーディネーターがそれぞれの専門性を活かしてサポート。その他にも、アーティストの関心に応じて、美術館で働く人、訪れる人などとの対話や交流の場を設けます。



Performance Residence in Museum 2026-27 世田谷美術館 × アートネットワーク・ジャパン

主催団体紹介

世田谷美術館

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

砧公園の一角に位置する、世田谷区立の美術館。芸術家が多く在住している世田谷区の特長を活かし、在住作家の作品調査、研究、収集活動を通じ、それらの作品を展覧会などで紹介する一方、幅広い分野の芸術を国内や海外の美術館・博物館と交流しながら積極的に紹介している。また「世田谷美術館 美術大学」や地域の学校・ボランティアとの連携による数多くの教育普及活動は、国内における先駆的な事例として注目を集めている。

内井昭蔵による建築は、建物の内部にしながら外部の自然環境を楽しめる展示室、パフォーマンスなどの会場となり得るエントランスなどを有し、多様な芸術ジャンルを横断する活動が館内で展開されることが建築コンセプトに組み込まれている。そのため 1986 年の開館当初から、館内の様々な場所で音楽・演劇・ダンスなどのパフォーマンス事業を多数展開している。



NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

<https://anj.or.jp/>

2000 年に設立。「芸術と社会をつなぐ」「文化芸術で未来を描く」という理念のもと、舞台芸術を中心とした文化芸術の活性化と推進、次代を担うアーティストやアートマネージャーの育成、国内外における文化交流の促進に取り組む。先鋭的・実験的な活動に取り組むアーティストを積極的に紹介する一方で、教育機関や福祉施設など地域課題の解決に取り組む組織との協働による文化事業にも取り組んでいる。国際舞台芸術祭の開催、廃校を活用した文化芸術の創造拠点「にしすがも創造舎」「たちかわ創造舎」の運営、美術館や地域の教育施設、福祉施設と連携したプロジェクト等を展開している。世田谷美術館とは 2011 年以来、協働の実績がある。

ANJ NPO 法人 アートネットワーク・ジャパン
Arts Network Japan